

令和7年度奥大和デジタル人材育成業務
プロポーザル受託者選定評価基準

審査項目	配点	評価内容	評価				
			特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る
実施方針	10	業務目的、業務内容について十分に理解した上での提案となっているか。	10	8	6	4	2
企画内容	50	<講座内容> ・特にリーダー育成、地域コミュニティづくり、デジタル活用の3点において、各回のテーマ設定や内容が、参加者にとって有益な情報を提供し、訴求力の高い魅力的な企画となっているか。 ・参加者同士の連携を促進する工夫が施されているか。	30	24	18	12	6
		<講師選定> 業務目的、業務内容に相応しく、実績や指導力のある講師を選定しているか。	10	8	6	4	2
		<フィールドワーク内容> ・事業目的、事業内容に適したフィールドワークの内容が提案されているか。 ・参加者同士の連携を促進する工夫が施されているか。	10	8	6	4	2
参加者の募集方法	10	効果的な募集方法が提案されているか。	10	8	6	4	2
事業実施体制及びロードマップ	10	業務執行のために適切な人員配置となっているか。また、役割分担は妥当か。妥当なスケジュールが組まれ、業務完了に至るまでの過程が明確に示されているか。	10	8	6	4	2
業務実績	10	本事業に必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	10	8	6	-	
価格	10	契約上限額と同額の見積価格を6点とし、見積価格が契約上限額から一定率（2%）下がるごとに2点ずつ加点（上限10点）	10～6				
合計配点	100						

※審査委員の合計点を集計し、最高点のものを受託予定者とする。（総得点が6割に満たない場合は、受託者としません。）

※提案者が1者の場合、選定基準による総得点及び各審査項目の合計点が6割以上で、かつ審査会の合議により認められたものについては、当該提案者を受託者として選定します。

※審査の結果、最高得点者が2者以上であった場合は、審査会の合議により受託者を選定します。

この場合、選定基準のうち配点の高い審査項目[企画内容]の得点を考慮します。